

第2 審査報告

1 提案募集・選考経過

(1) 説明会

① 自由提案

共働事業提案制度や募集内容、共働の意義等についての説明会を行った。

開催日時 平成26年4月18日(金) 18:00~18:50

会場 福岡市NPO・ボランティアセンター(あすみん)

注) 同日、引き続き「あすみん」主催の提案サポートセミナー実施

② 市が提示したテーマに基づく提案

共働事業提案制度や市が提示するテーマについての説明会を行った。

開催日時 平成26年6月19日(木) 17:00~18:00

会場 福岡市NPO・ボランティアセンター(あすみん)

(2) 共働事業提案の募集

募集期間

平成26年4月18日(金)~5月29日(木): 概要版受付

平成26年5月29日(木)~7月17日(木): 本提案受付

合同面談会 ※自由提案のみ

開催日時 平成26年6月10日(火) 10:00~16:30

平成26年6月11日(水) 10:00~16:30

会場 福岡市役所内会議室

26年度の提案募集に対して提案概要版13件が提案された。提案概要版を提出したNPOと、その提案内容に関連する市の担当課とが意見交換をする場を設け、NPOが解決を目指す課題や、市と共働して取り組みたい事業内容、またその課題に対して市が認識している市民ニーズや市が実施している事業などについて、意見交換が行われた。

また、市が提示したテーマに基づく提案に対して2件が提案された。

NPOは必要に応じその後も市担当課と意見交換を行い、さらに提案内容について具体的に検討し、最終的に6件が正式な提案として提出された。

提案種類	提案概要 提出	本提案 提出	資格要件 適合
テーマ・ジャンルを問わない 自由提案	13事業	4事業	4事業
市が提示したテーマに基づく 提案	—	2事業	2事業
合 計	13事業	6事業	6事業

(3) 第2回推進委員会（第1次審査）

第1次審査は資格要件適合の6事業の提案について書面審査を行い、5事業を選考した。

開催日時 平成26年9月1日（月）13：30～15：30
会 場 福岡市役所15階 第5特別会議室

提案種類	通過事業数
テーマ・ジャンルを問わない自由提案	3事業
市が提示したテーマに基づく提案	2事業
合 計	5事業

(4) 提案団体と市担当課の協議

第1次審査を通過した5事業の提案団体と市担当課による面談会が9月中旬に実施され、企画内容の協議や情報交換が行われた。

(5) 第3回推進委員会（公開プレゼンテーション・最終審査）

第1次審査を通過した5事業について、提案団体によるプレゼンテーションの後、引き続き最終審査を行い、4事業を選考した。

開催日時 平成26年10月27日（月）13：00～17：30
会 場 福岡市役所15階講堂

提案種類	通過事業数
テーマ・ジャンルを問わない自由提案	3事業
市が提示したテーマに基づく提案	1事業
合 計	4事業

(6) 審査結果総括 (最終)

区 分	提案概要版 提出	本提案 提出	資格要件 適合	第1次審査 通過	採択 事業数
自由提案	13事業	4事業	4事業	3事業	3事業
市のテーマへの提案	—	2事業	2事業	2事業	1事業
合 計	13事業	6事業	6事業	5事業	4事業

2 本提案応募状況 (資格要件適合)

	事業名	提案団体名
市のテーマへの提案	地域の歴史文化を活かしたウォークラリー みなみく・さるく	みなみまちむすびプロジェクト
	南区ウォーク&トーク	(特活) グリーンシティ福岡
自由提案 テーマ・ジャンルを問わない	福岡城・鴻臚館を活かした観光都市戦略事業	NPO法人鴻臚館・福岡城歴史・観光・市民の会
	チャレキッズ～障がいのある子ども達の夢をかなえるプロジェクト～	(特活) まる 【合同提案団体】合同会社絆結
	地域のチカラで認知症予防!	(特活) 介護予防で日本を元気にする会
	暮らしと松原をつなげる「松葉の堆肥づくり」海岸林を50年前へ復元するための方策	NPO法人循環生活研究所

3 最終審査通過事業（概要と選定理由）

No. 1

事業名	南区ウォーク&トーク		
提案団体	(特活) グリーンシティ福岡	事業予定額	572千円
市担当課	南区企画振興課		
事業目的及び概要	南区で活動している団体の活性化を通じて区民への魅力発信の強化を行っていくため、NPOの持つイベントの企画運営やワークショップの手法等を地域団体へレクチャーすると同時に、団体同士の知識やノウハウを共有する場としてウォーク&トークを開催し、対話を通じて体験を深めていく。また、その手法をマニュアルとしてまとめる。		
選定理由	「ウォーク&トーク」のアイデアは実効性があり、南区型モデルにつながると評価できます。また、人材育成、そのためのマニュアルの作成ということで、共働の効果も期待できます。 一方で、人材を育成していくプロセスが分かりにくい点や、マニュアルをどう使って普及させていくのが課題であり、行政の役割が重要になってくると思われま		

No. 2

事業名	福岡城・鴻臚館を活かした観光都市戦略事業		
提案団体	NPO法人鴻臚館・福岡城歴史・観光・市民の会	事業予定額	3,000千円
市担当課	経済観光文化局観光戦略課		
事業目的及び概要	福岡市が経済・産業・政治だけでなく観光においても九州・アジアの中心として発展していくために、潜在価値の極めて高い歴史・文化遺産「福岡城」「鴻臚館」を活用し観光拠点都市、MICE都市の評価を高める。また、若者が郷土歴史遺産を学ぶ機会を創出し次世代へ継承していく。		
選定理由	本事業は、本市のまちづくり都市戦略とも合致した事業であり、必要性が高いと判断します。計画もよくまとまっており、実現に向けた段階的計画を踏まえた優れた事業と評価できます。 一方で、中長期的に検討していくべき課題であり、3年の間に結果を出すことが難しい事業でもあります。役割分担がNPOに偏っていることや、事業数が多く、事業を整理する必要性も感じます。 長期的な視点での事業であり、市としても戦略的に考え、取り組まれることを期待します。		

No. 3

事業名	チャレキッズ～障がいのある子ども達の夢をかなえるプロジェクト～		
提案団体	(特活) まる 【合同提案団体】 合同会社絆結	事業予定額	4, 600千円
市担当課	教育委員会発達教育センター		
事業目的 及び概要	障がい者の就労の促進と定着支援を目的とした、幼い段階からの障がいのある児童生徒のキャリア教育の機会を創出する。保護者、教員、企業等には児童生徒を受け入れるための知識と経験を磨く場をさまざまな角度から提供することで、障がいのある児童生徒の自立と自己実現が可能な社会の実現を目指す。		
選定理由	障がい者の就労支援という社会的課題の解決を図る事業として、共働事業の意義、効果も高く、産官民の共働事業として高く評価できます。 課題は大きなものですが、双方のミッションがしっかりしているので、実現の可能性にも期待が持てます。職場実習先の企業の開拓や理解がポイントになるため、周知、啓発により、企業の参加を進め、連携のモデル事業となることを期待します。		

No. 4

事業名	暮らしと松原をつなげる「松葉の堆肥づくり」海岸林を50年前へ復元するための方策		
提案団体	NPO法人循環生活研究所	事業予定額	2, 402千円
市担当課	農林水産局森林・林政課		
事業目的 及び概要	近年の松くい虫による大規模な被害に対し、これまで薬剤散布や枯損木伐倒による駆除を行ってきたが、こうした対策は限界に達している。白砂青松を取り戻すためのひとつの手段として、松葉を堆肥化し、農業活用や地域の花壇での活用などで地域資源の循環を図る。		
選定理由	松葉の堆肥化について見通しが立っているのであれば実現性も高く、課題解決のための計画として評価できます。 一方で、堆肥化と市民参加のつながりが弱く、効果的な参加促進ツールが必要だと思われま。具体的・継続的な仕組みづくりに努めていただくとともに、様々な団体を巻き込んでの共働ネットワークづくりとノウハウの拡大に期待します。		